



SENRI KINRAN
UNIVERSITY

千里金蘭大学

学
報

〒565-0873 吹田市藤白台 5-25-1 TEL06-6872-0673 (代)

年頭所感 学長一年生



千里金蘭大学学長
島崎 靖久

明けましておめでとうござい
ます。

昨年10月1日に学長に就任し
て、あつという間に3カ月が経
ち、新年を迎える事となりまし
た。

外科医の世界から転じて3年
目を迎え、女子大の感覚が少し
解りかけたかなと思われたとこ
ろに、看護学部長から急に学長
となり、また、これまでとは違っ
た世界に来了た感じがして、頭の
中が少し混乱しています。学長
としての仕事が多くなり、看護
学部学生諸君とも看護学部の先
生方とも疎遠になり、若い方々
からのパワーも貰えず、さびし
い思いをしています。急な変化
に慣れ、頭が整理され、落ち着
くまでには、もう少し時間が掛
かるのかも知れません。

新米の学長には、現実を良く
見つけて、慌てずに必要なこと
から一つ一つ丁寧に対応するこ

とが求められているものと思っ
ています。また、結果を急がな
いことも重要であろうと思っ
ています。ゆつくりと、気長に粘
り強くやってまいりますので、
よろしくお願いいたします。

本学の学生は感性豊かで心配
りに優れていると耳にします。
これに、少し力強さが加われれば、
更に好ましいのではないかと感
じています。楽しい大学、元気
の出る大学で逞しい女性の育成
を目標にするのが良いのではな
いかと考えています。これまで
も、多くの皆様の声に接して来
た訳ではありませんが、その機
会がさらに少なくなつたことも
あり、食物栄養学科、児童学科
を含めたすべての学科の教員や
学生の皆様とのお話の機会を持
つこととしました。ざっくばら
んにお話できればと思っております
ので、是非、参加してくだ
さい。

メイシアター・千里金蘭大学共同事業

ファミリーミュージカル

「遊び舞う桜のように」

主催：吹田市・(公財)吹田市文化振興事業団・千里金蘭大学

公演：2014年3月15日(土) 18:00

16日(日) 13:00/17:00

場所：メイシアター(阪急千里線吹田駅前)

内容 吹田のある無人のお社。人形を介してしか話が出来
ない現代の若者と、昭和14年、子どもたちと一
緒に影絵劇を上演していた染物師が時を越え「遊
び心」の世界で出会います。そんな二人が桜の木
の下で目にしたものは…。

プロの俳優、ダンサー、オペラ歌手に加えて、千
里金蘭大学の学生とオーディションに合格した
市民が、創る喜びと触れ合いの大切さを魂の奥に
お届けします。

※詳細については、子ども支援協働研究室(内線5109)まで

日々のキャンパス

普段は Twitter によるキャンパス情報を掲載していますが、今回は 2013 年 10 月から 12 月にかけて学内で行われたいくつかの催しについて、担当の先生方にご報告いただきます。

10月27日

児童学科 ホームカミングデー

卒業生の皆さま、いかがお過ごしでしょうか？

ご健勝、ご活躍のことと思えます。今年度も以下の日程で、「ホームカミングデー」を開催いたします。今年は皆様に、より楽しんでいただきたいと思いますよう、ワークショップも準備しています。懐かしい学び舎で、人間力UPの時間を楽しみませんか？皆さまのお越しを吸引、在学生一同お待ちしております。

今年のホームカミングデーは、大学祭の期間中の10月27日(日)13時より吹田キャンパス3号館で行いました。20名ほどの卒業生と在校生、教職員あわせて50名余の出席でした。大学祭を在校生気分楽しんでくれ、「ローズウィンドウづくり」のワークショップ、「卒業生とお仕事トーク」では現在の仕事に関する熱い思いを語ったり、学生時代としておくつよいことをアドバイスしたりして身近な先輩役を果たしてくれました。その後は教室を替えての茶話会で、みんな入り混じっておいしいケーキで締めました。また、来年をお楽しみに。

(中島保子教授)



11月12日

第七回吹田市民大学 千里金蘭大学 キャンパス講座

本年度も、11月12日から12月10までの毎週火曜日、午後1時より9階大会議室で吹田市民大学千里金蘭大学キャンパス講座を開きました。この催しは、本学と吹田市の教育協定に基づいた取り組み

で、大学と自治体とが協力する生涯学習への取り組みです。本年度もこの吹田市民大学に、毎回約130人前後の受講生が聴講に來られました。今年で既に7年目となり、毎年参加者も増え続け、大学の地域貢献に役立つ活動になっています。

本学は人々の学びへの要求に応えるというのが設立の精神です。で、今後も地域社会の学びの心に答えたいと思います。今年、「東西文化における信仰や生命の観念」をテーマに据えて、平安時代の貴族の山岳信(片山教授)、イタリア社会のカトリック信仰(ジュゼッペ・ワイノ講師)、六条御息所の生き霊(四重田大阪大谷大学教授)、ケルトの文化(御輿教授)、谷崎潤一郎の異界(明里教授)というユニークな講演で、参加の方々の文化的な興味に答えることが出来ました。

(生形貴重教授)



11月16日

豊中市食育ボランティア 「みんなで収穫祭」

「緑と食品のリサイクルプラザ」にて施設の見学やさつまいも、大根などの収穫体験イベントが開催され、本学食物栄養学科の学生計10名がボランティアとしてイベントのお手伝いをしました。

11月22日

日本ユニセフ協会より 感謝状をいただきました

先日行われた大学祭の中で、児童学科国際ゼミが主催したチャリティストアの実施収益をユニセフに募金し、感謝状をいただきました。ご来場者のみなさまのご協力、誠にありがとうございました。



速報 付属図書館を土曜日にも開館します!

図書館ではこれまで多くの要望が寄せられておりました土曜日開館を、2014(平成26)年1月より実施いたします。土曜日にもじっくり学習に取り組むことができますようになります。どうぞご活用下さい。

開館時間 10:00~16:00(図書館の利用は本学学生・教職員・公開講座受講生対象です)

図書館ホームページ <http://www.kinran.ac.jp/library/calender.html>

12月8日

第12回日本栄養改善学会 近畿支部学術総会



12月8日(日)に「第12回日本栄養改善学会近畿支部学術総会」を本学で開催いたしました。本学術総会は毎年、近畿5府県で開催されました。その間「健康増進法」の施行や「食育基本法」の制定、「健康日本21(第2次)」の開始等、食と健康をとりまく環境整備や地域での実践的な取り組みがますます必要とされる時代になっていま

す。

そこでテーマを「広めよう!ひとを支える実践栄養学」としました。結果としては、参加者は226名を数え、一般口演も70演題にのぼり、予想を上回る盛況な学会となりました。演者の中には、学部学生や大学院生も多く、活発な討論が行なわれました。さらに、日本栄養士会会長による特別講演の「栄養士・管理栄養士の養成及び卒後教育」、食育活動に取り組んで来られている方による「食育推進(2次から3次へ)のシンポジウムも行ない、多くの聴衆が集まりました。

(幸林友男教授)

12月10日

本学で「防犯キャンパスクリスマス2013」が開催されました。

大阪府警の協力により「女性のための防犯」をテーマに、大阪府警音楽隊の演奏や生活安全指導班の防犯教室、防犯ブザーの配布を行いました。当日は沢山の学生が参加し、防犯教室に熱心に耳を傾けていま



履修証明制度について

今日の大学のもつ重要な機能のひとつに社会貢献があります。文部科学省は「昨年「センター・オープン・ミニ・ティ構想」を発表し、大学は地域の課題解決に取り組み、地域再生の中核となるべし」という方向性が打ち出されました。本学においても地域共創センターが中心となつて社会連携を進めているところであり、その一環として、今年度から「履修証明制度」が始まっています。

履修証明制度というのは平成19年度の学校教育法改正によって創

設された制度で、従来の生涯学習講座とは時間数と目的に大きな違いがあります。90分授業に換算して80コマ以上が必要とされ、目的として職業キャリアの形成が掲げられています。

本学では現在、フランス語ウラン・ス文化関係で二講座、そして英語翻訳関係で二講座が開かれています。私の担当している講座ではアメリカの短編小説をとりあげ翻訳に取り組んでおり、今春には共同訳のかたちで翻訳家デビューを果たすことになっています。どうぞご期待ください。

(岩谷智教授)

小学校教員採用試験に 学生2名!

本年度も各自治体が実施します小学校教員採用試験にチャレンジし、その結果、千里金蘭大学生活科学部児童学科の学生2名(小学校志望者4名)が、小学校教員採用試験に合格しました!

また、併せて卒業生も6名合格(小学校志望者8名)しました!合格した学生たちは来年度の平成26年4月より、晴れて小学校の教壇にたちます!

教職支援センターでは、これからも小学校教員の道を進む皆さんを応援したいと思っております。

(教職支援センター)

卒業生のみなさんへ

千里金蘭大学 2013(平成 25)年度卒業式は、
3月 18日に行われます。
一足早く、生活科学部・看護学部の両学部長から
卒業生へのメッセージをいただきました。



生活科学部長 兒玉 成一

生活科学部食物栄養学科・
児童学科の皆さん、卒業おめで
とう。心からお祝い申し上げます。

みなさんは、この言葉をかけ
られたとききつと、この言葉を
くれた人に「有難うございます」
と返すと思います。でも、この
言葉は誰よりも先ず一番に、こ
の4年間千里金蘭大学で勉強さ
せてくれた、保護者の方々に言っ
てもらいたいと思います。

4年前に、期待に胸をふくら
ませて入学し、多分大学ってこ
んなに勉強しないといけないとこ
ろかと、びっくりして戸惑ったの
ではなかったでしょうか。

すべての学部、学科は、資格
取得を目的にカリキュラムが構
成されており、食物栄養学科は、
管理栄養士の国家資格を、児
童学科は、保育士、幼稚園教諭、
小学校教諭の資格取得を目指
しており、普通の文科系の大学
などに比べると、大変厳しくて
忙しい学生生活を送ったと思い
ます。皆さんにとってはあつとい

う間で、苦しかったけれど多く
の実りを得た4年間ではなかつ
たかと思えます。

これから、皆さんはその実り
をもつて社会に出て行くのです
が、当然社会人としては、まだ
なにも知らない一年生です。必
ずいろんな困難にぶち当たりま
す。でも、千里金蘭大学で得た
多くの実りや、苦しかったこと
を乗り越えられたという自信
は、どんな困難をも乗り越えさ
せてくれるでしょう。

千里金蘭大学を卒業したこと
を誇りに、そしていつも誰かに
支えられているのだという感謝の
気持ちを忘れずに、今度は人か
ら感謝される仕事の出来る人にな
つてもらいたいと思っています。

この卒業限りに皆さんとお別
れではありません。これから皆
さんは、社会人として、そし
て同業者としてのお付き合いの
スタートです。困ったときは、い
つでもここに戻ってきてください。
思いっきり元気よく、社会で
羽ばたいてくれることを期待し
ています。卒業おめでとう。



看護学部長 竹村 節子

3期生の皆さまご卒業おめで
とうございます。

4年間という時間は皆さま一人
ひとりにとつてどんな意味があつ
たでしょうか。長いと感じる人、
短いと感じる人、充実した時間
と感じる人、大変だったと感じ
る人など様々だと思います。

4年間をふり返つてみますと、
座学による講義や学内での演
習、各目的に沿った臨地実習な
どを各自が努力し修了された結
果だと感慨深く思います。

皆さまが係わらせていただい
た多くの受け持ち患者様から、
「看護とは」という課題について
多くの示唆をいただいたと思
います。今後とも多くの方と関わ
りながら看護への探究を続け
てください。

社会人として働くということ
は、学生時代とは異なり仕事に
対する責任がついてきます。仕
事に対する誠実さ、自己研鑽へ
の努力を持ち続け頑張ってくだ
さることを願います。

これからは同じ看護職で働く

同胞として連携しながら、未来
の看護職の在り方を考えていけ
たら嬉しく思います。

人生において多くの苦難があ
ります。苦難に出会いくじけそ
うになった時、学び舎を思い出
してください。同窓の友や教員
がついていることを。なんらか
のお力になれると信じています。

編集後記

この学報は年4回発行、今年度最
後となります。紙媒体の配布は学内
限定ですが、バックナンバーは本学
ウェブサイトでご覧いただけます。
卒業されても、学内の普段の様子を
ぜひウェブ版でご覧ください。皆さん
からのご意見、お待ちしております。

千里金蘭大学 学報 (第5号)

発行 2014(平成26)年1月23日(木)
〒565-0873 大阪府吹田市藤白台5-25-1
千里金蘭大学学報編集委員会
Tel 06-6872-0673(代)

大学Web <http://www.kinran.ac.jp/>
携帯サイト <http://www.kinran.ac.jp/mb/>
公式Twitter <https://twitter.com/SenriKinranUniv>
受験生応援サイト <http://www.kinran.ac.jp/cheer/>
受験生応援ブログ <http://www.kinran.ac.jp/cheer/blog/>